

TOS の PC(戦士系 2) 一覧

こちらでも戦士系で武器スキルに習熟していますが、それとは別に特定の戦士系スキルに特化している PC です。そのため、スキル構成にやや癖があります。メインの武器スキルはみな GM 以上になっていますが、職業称号もその戦いのスタイルに合わせたスキルのものに合わせています。

侍 Gazel (ガゼル)

Feathered Hunter

-Tatsujin Samurai-

沼地でいつものように戦う様子。
Rafale の色は単純になった気がする。

『正邪の大陸』導入の時期に、工房の面々の中で一番最初にブリタニアに降り立ったキャラクター(つまり、いわゆる「古き良き時代」を体験はしていないということになるか)。スキル構成を色々試した結果、かなり入れ代わりが激しく、今は微妙に偏った状態。でも、戦えるからいいや、と思っている。一応、ギルド「Slow Life in Britania」のギルドマスター。

濃紺の male kimono に羽根帽子、『正邪の大陸』導入時の記念品(通称は謝罪アイテム)である緑の cloak を羽織っている。double bladed staff をこよなく愛用していたが、最近は強力な Lightning 効果の elven spellblade を使っている。レッサー飛竜(lesser hiryu)の Rafale(ラファール)に騎乗するのが基本スタイルで、他に沼ドラ(swamp dragon)の Gail(ゲイル)とカブトムシ(giant beetle)の Wargen(ワーゲン)を相棒にしている。

「武士道」Tatsujin(Elder のこと)、「槍術」「受け流し」Elder、「解剖学」「治療」「魔法」GM、残りは「集中」という構成。「戦術」が無い一撃の打撃力は弱めであるが、迅雷撃(Lightning Strike) + 見切り(Evasion)を基本に、赤閣下(daemon)や沼地の大物(bog thing、plague beast、acid elemental)あたりが相手なら張り付きで戦える。ほぼテンプレートどおりだが、やはり「武士道」「受け流し」は可能な限り上げたいところ。どちらも PS115 までは導入し、装備やアクセでさしあたり 115 にしている状態だったが「武士道」の方はリアル値も 115 になっている。

「評価」もゼロであるため、一時は Paralyze の呪文効果(効果時間が「評価」で決まる)を与えられず、plague beast lord からは逃げるしかなかった。しかし『宝珠の守人』によりヒューマンはスキル 20 が保証されるようになったため、これも自力で退けることが可能になった。魔法は攻撃の手段というよりは、移動や召還・変身(謎)のために用いている。

最初は「武士道」「受け流し」ではなく、「錬金術」「戦術」を GM まで入れていたのだが、毒攻撃の仕様変更で「毒」が無ければ有効な打撃を与えなくなったため、「錬金術」を捨てて「毒」を上げようとしていた。

しかし、『武刀の天地』導入時、異文化の力に魅入られた彼は、「錬金術」は弟子の Clouse に任せることにして「武士道」を身につけ、それを最大限活かす為敢えて「戦術」を切って「受け流

し」を覚えることにして、今に至っている。

「戦術」ゼロの状態だと侍は若干不利になるのだが、さらなる仕様変更でとうとう武器 SpM が使用できなくなるという弊害も発生してしまった。「武士道」のアビリティは使用可能なので、大勢に影響は無いが戦いのスタイルが限定されたことは間違いない。かといって「魔法」との入れ替えは特に考えていない。

戦闘をそこそこなし、魔法による移動も苦労しないという汎用キャラクターのモデルとなっている。というか、どちらも完全にこなせるようにはなかなか作れないのが、UO の面白いところ(絶妙なところといっても良いだろう)。最近は特に1つのスキルだけでは出来ないことが増えてきたような気はする・・・。

TOS の PC~(戦士系 1)	TOS の PC~(戦士系 2)	TOS の PC~(魔術師系)	TOS の PC~(使役系)	TOS の PC~(非戦闘系)	ふるーの PC
Andrew~Velzette	侍 Rosally~Azal Gazel~Kurogane~O	魔術師 Gazel~Clouse	テイマー Gazel~Lilian~Michel	Sherria~Randelt~Ric	Minoddy~Mamen

([工房の面々のトップに戻りたいときはこちらをクリック](#))

Kurogane (クログネ)

Knife Edge

-Shinobi Ninja-

密かに沼地を散策中。

隠れた瞬間、近所の人に死んだと勘違いされたことも。

Michel の夫・・・つまり、侍 Gazel や Azal にとっては義兄ということになる。徳之諸島の出身であり、ブリタニアから迷い込んだ時期の Michel を助けた縁で仲良くなったらしい。その後、徳之諸島とブリタニアが自由に行き来できるようになったとき、Michel を追って魔法工房の住人となり、ここで毒を扱う技術を身に付けた。

いまだ忍びの技を修行中。ブリタニアでもいつも忍者装束に身を包んでいる。手には Night Kiss 一本を持ち、これだけで生き抜いてきた。その刃には猛毒が仕込まれており、まともに食らえばほとんどのモンスターは倒れ伏す。

いつでも薬を飲めるように、盾は取えて持たない。

隠密行動が多いため、騎乗生物には乗らない。移動速度がほしいときは自らが騎乗生物に変身すれば事足りるからだ。

忍びの技に集中するべくスキル構成は極端。「忍術」が Shinobi(Elder のこと)、「隠密」が Elder、「槍術」「隠蔽」「追跡」「毒」が GM で、残りは「集中」。

「毒」は Azel から引き継いで成長させたものだが、そのほかは地道に修業してきた。遂に一番時間が掛かっていた「忍術」も 110 に達した。「忍術」が 110 に達した時の表記は Elder ではなく Shinobi となるため、彼の職業タイトルは誤記ではない。

戦士に必須スキルのはずの「戦術」や「解剖学」は、はなから捨てている。攻撃力の低さは「毒」と「忍術」でカバー、回復力の無さは薬や特殊能力でカバー。「戦術」がないと武器 SpM は使えなくなったが、ダガーならばどちらの SpM も使える（「毒」と「隠密」があれば使える）ので、戦いのスタイルに変更は起きなかった。

完全に忍者としての能力に特化しており、そのスキル構成はダガーを持った戦いのスタイルとの相性が抜群（・・というか、それ以外の殆どの武器を使いこなせなくなってしまった・・）。自ら塗った毒を与えて、その後 敵の背後に潜む技が決まると、実にクール。手裏剣や吹き矢も常時携帯しており、戦闘力は決して低くない。

戦い方如何では沼地の大物とも勝負できそう・・と言いたいところであるが、毒をもともしない連中ばかりなので、若干（いや、かなり）気後れしている。毒さえ効くのなら、リーサル毒で転がせるはずなのだが・・。

TOS の PC~(戦士系 1)	TOS の PC~(戦士系 2)	TOS の PC~(魔術師系)	TOS の PC~(使役系)	TOS の PC~(非戦闘系)	ふるーの PC
<u>Andrew~Velzette</u>	<u>Rosally~Azel</u> <u>Gazel~Kurogane</u>	<u>Magical~Clouse</u>	<u>Teimaa</u> <u>Gazel~Lilian~Michel</u>	<u>Sherria~Randelt~Ric</u>	<u>Minotod~Mamiin</u>

([工房の面々のトップに戻りたいときはこちらをクリック](#))

・このページだけ妙にアクセスが多いのは、Kurogane ファンが多いからではなく（笑）、スパム投稿が繰り返されているためです。フィルターにより弾かれています。本当に見られているのが分かりづらくなるのが困り者です。 - TOS (2008 年 04 月 04 日 17 時 30 分 55 秒)

Ordlic (オードリック)

Material Collector

-Grandmaster Lumberjack-

山中で本来の作事中。

掘り仕事に Collona の支援は欠かせない

『宝珠の守人』導入の折に生まれたエルフ。エルフの種族能力を活かす為、それまで Andrew が持っていた「伐採」と、Sherria が持っていた「採掘」のスキルを引き継ぎ、素材を集める担当となっている。工房の面々の中では、エルフはまだまだ少数派（あとは Lilian だけ）だったりする。

青いツツツ頭に、黄色系のサーコートと革鎧というスタイルで、ブリタニア各地の森や山を
行く。手に持っているのは Double Axe で木を切るのが目的だが、モンスターも両断する。この斧
は Sherria が腕を振るった業物で、雷による追加攻撃とマナ吸収が可能。武器の技としても
「Double Strike」と「Wirlwind Attack」というように、点制圧(1体への集中攻撃)と面制圧(周辺
への範囲攻撃)のどちらも可能な優れものだ。Double Strike + 雷が綺麗に決まれば、トカゲやワニ
程度なら生き残ることは不可能。

「採掘」で掘り出した Ore をすぐに溶かすため、Sherria からスキルと共に譲ってもらった fire
beetle の Collona(コロナ)に乗る。さらに荷物を持たせる必要があるときに備えて、カブトムシ
(giant beetle) の Chevrolet(シボレー) や、荷ラマ (pack llama) の Karl(カール) が厩舎に待機してい
る。

最近導入された salvage bagのおかげで、金属製の武器防具を溶かすのが格段に楽になって喜ん
でいる。

「採掘」「伐採」は GM スキルを引き継ぎ、岩・砂の掘り方ももちろん覚えている。後は、自衛
のために上げ始めた戦士系スキル「剣術」「解剖学」「戦術」はいずれも GM まで上げている。た
だ、職業称号がありきたりになるので、敢えてそれを超えて上げていない。

「伐採」の効果もあり斧の打撃力は高いので、フィールド上に現れるモンスターなら「魔法」も
併用して余裕で排除できるようになった。その戦いのスタイルは侍の技を身につける前の Gazel
に酷似している。以前は警戒しながら戦う相手だった ogre も、いまや樵の片手間に張り付かれた
ままであしらせるようになった。

沼地でワニやトカゲを倒すのにも苦労しなくなっており、皮集めは余裕になってきた。徳の装
備が当たるかも知れないということもあり、戦士修業の終盤は、シェイムでの土エレ狩りやコヴ
トスでのハーピー狩りを繰り返す日々だった(これだけでも頑張ればもらえることを確認でき
た!)。

素材を集めるのが目的のキャラであり、既に GM になったスキルを引き継いでいることから、生
まれたと同時に即戦力となっている。彼が切り出したり掘り出したりした素材により、工房の調
度品や店の品物が作られている。文字通りの、縁の下の力持ちである。

ブリタニアを歩き回っては「伐採」の中で、遂に Frostwood を発見することも出来た。半ば都市
伝説だと思っていただけに喜びはひとしおだ。

TOS の PC~(戦 士系 1)	TOS の PC~(戦 士系 2)	TOS の PC~(魔 術師系)	TOS の PC~(使 役系)	TOS の PC~(非 戦闘系)	ふるーの PC
<u>Andrew~Velzette</u>	<u>侍</u> <u>Rosally~Azal</u> <u>Gazel~Kurogane</u>	<u>魔術師</u> <u>Ortizel~Clouse</u>	<u>テイマー</u> <u>Gazel~Lilian~Michel</u>	<u>Sherria~Randelt~Rid</u> <u>Wintodt~Mamiën</u>	

(工房の面々のトップに戻りたいときはこちらをクリック)